



森ボラ通信

第29号 2004年 10月20日発行

北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南2条西2丁目 金市館ビル8F

Tel 241-8155 Fax241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

お報せ2件

① 2004「国際ボランティアのつどい」で高野事務局長が講演

日時/10月26日（火） 場所/朝日ホール（ホテルニューオータニ札幌4F） 開場18時~/開演18：30

メインゲストのアグネス・チャンさんの前座で「NGO活動状況報告」として当会の活動状況を「撫順市植樹」関係を中心にして報告します。整理券20枚ほどがありますので、事前に取得していない方でも当日入場口でお渡ししますので、参加してください。

② 事務所移転にともないまして幹事会の場所および開催曜日を変更します。

場所：金市館ビル8階会議室

開催曜日および時間：毎月第二月曜日13時から

My寿司皿で食べよう会（兼HP公開1周年記念祝賀会）

永田さんが「自分の好きな木で自分だけの寿司皿を作って寿司を食べに行こう！」と提案してから早ひと月半。折しもホームページを公開してから11月で1年になりますので、祝賀会も兼ね食べよう会を以下の通り決行します。まだ寿司皿を作っていない方、10/26がチャンスです。1日あれば完成できます。

日時：11月9日（火） 16：00～ 現地集合

場所：山田寿司

会費：1000円（飲み物代）※寿司代は個人払い（1個100円）

幹事：永田・渡部

澄川作業

10月18日（月）参加18名、19日（火）参加19名。拡張部分に対して台風被害後の本格的除伐作業を行います

した。2日間で延べ37名の参加でほぼ除伐を終了しました。ミズナラはキノコのホダ木にするために伐採を先にのばしました。作業道をふさいでいる風倒木も一部を整理しました。先般の学生ボランティア研修生から入会しました山岸さんの初仕事となりました。今年残された作業はミズナラの除伐と風倒木片付けとなります。（高野）

澄川台風被害木処理

10月15日（金）参加12名。作業内容説明のあと、事故のないよう注意するよう伝達があった。作業は風倒木・生折木の玉切り、枝払いを行ったが少々の働きでは時節柄汗をかくようなことはなくなった。午後はネイチャークラフト、フリーマーケット用にシラカバ・サクラ・エンジュ・ホウ・キハダなどを集材し搬出を行う。

第二ホダ場でヒラタケの大物2個を発見する。水場近くに移動し養生したら大量の発生を促進できそうである。（石川）



フリーマーケット出品作品製作

10月14日（木）参加6名。杉本さんの娘さんが出店する西区のフリーマーケットに木工作品を置かせていただくこととなり、急ぎ作品を制作しました。作品数26。大半が輪切りや斜め切りの材を磨いたものです。結果5点が売れましたが、内3点は使用目的の明確な鍵掛け（杉本さん発案）でした。今回の出品により課題が見えてきました。木を多くの人々の生活に取り込んでもらうために考えましょう。アイデアを捻り、技術を磨いて協会の自信作を作りましょう。来年は自分たちで出店です。（柴田）

北限のブナ林見学ツアー

10月12日（火）・13日（水）参加16名。黒松内町に、ブナの原生林を見に行きました。1日目に70～80年前の伐採後に再生した二次林「添別ブナ林」を、2日目に国の天然記念物にも指定され、200年を超える樹齢の大木が多く見られる「歌オブナ林」を見学。若い勢いに満ちた林と成熟した林、それぞれの息吹を感じることができました。2日目の行程には、ブナセンターの若き研究者・斎藤均氏が同行。北限域のブナの葉が南限域に比べると4倍も大きいこと、下枝がなく



真っ直ぐに成長していることなど、日照の少ない北国の気象条件に適応した特徴やブナ北限に関する学説などをじっくりと解説してくれました。ブナと同属のミズナラが仲良く共生していたこと、地面にブナの稚樹がびっしりと発生していたことも北限ならではの現象とのことで、改めて自然の知恵と逞しさを思いました。斎藤氏によれば狩場山のブナ林は見事であるとのこと。また先日、奥尻はブナの島との新聞記事を目にしました。北のブナを追ってみたいくなりました。

夜は黒松内のもち米からできた美酒に酔いました。斎藤氏によると、12月1日発売の「舞白鳥」は絶品とのこと。左党の方要チェックです。（柴田）

オイスカ「北海道山・林・SUN体験プログラム」

10月9日（土）参加6名。（財）オイスカにより1995年から全国各地で行われている植林事業で、北海道では8回目を数えるイベントです。場所は当別町道民の森青山中央地区、コンセプトは「子供が主役の森づくり」で、今回は札幌の三角山小学校と福移小学校の子供たちが参加。トドマツ・アカエゾマツ・ナナカマド各100本の植樹に、森林教室・写生大会・ドングリ拾いと子供中心のプログラム構成でした。子供たちは2年生。見知らぬ大人にもすぐ打ち解けて、旺盛な好奇心とやんちゃ振りを発揮していました。

子どもたちと木を植えるということは、ストレートに嬉しいことでした。子どもたちの目の中に未来が透けて見える気がしました。寂しい枯野に高く響く子供たちの声のように、今日の木も高く天を目指すものと希望の持てる体験でした。（柴田）

有明にクマの糞を発見



10月6日13：22、風倒木調査中に発見。30林班第11小班の広葉樹林笹地、有明小学校の川向こうの林地です。糞にはヤマブドウの種に動物の白い毛も混じっていました。11日、清田区役所・清田警察立会いのもと熊の糞を再確認、新しく噛み痕のついたコーラ缶の発見をし、熊出没注意の看板を3箇所につけました。作業は予定通り行うも、入林時には下記の注意をしてください。

- 皆でまとまって作業する
- 熊鈴などで音をだす
- 昼食は車の中（臭いを出さない）

＝鹿の踊り場＝22小班の北側林班界付近にはエゾシカの踊り場があります。ゴロゴロ背中をこすって踊ったと見えて草もちぎれ土が出ています。また12小班の15小班寄りの沢地にはシカの足跡が見つかりました。豊かな山です。（酒井）

ただ今My寿司皿製作中

9月30日（木）参加6名。「自分の好きな木で自分だけの寿司皿をつくって寿司を食べに行こう!」。永田さんの提案に乗り、寿司皿作りが始まりました。形・サイズは様々。好きなネタをイメージすれば作業の手も進みます。この日1日で2名が完成させました。11月にはMy寿司皿を持って寿司屋のカウンターに並びましょう。（柴田）

澄川被害木調査と学生ボランティア指導

9月28日（火）29日（水）参加15名および12名。被害調査を終えました。結果は4ページに掲載しました。607本にも及びました。シラカバが203本と最も多くやられました。ミズナラ76本、クリ67本とありますが、クリは大木です。

29日は学生ボランティアの指導を行いました。15名を3班に分けて①手ノコによる除伐②チェーンソーの実習③不法投棄タイヤの引き上げをローテーションして全員がこなしました。（高野）

リンゴ園作業今年度終了

9月25日（土）参加21名（予定人数）。9割落果の台風被害により、予定より早くこの日をもって今年度のリンゴ園作業は終了しました。最後の仕事は葉摘みでした。葉陰から顔を出し陽光をいっぱい浴びてリンゴの実には喜んで見えるように見えます。リンゴの根元には落ちた実が整然と並べられ、こちらにも満遍なく光があてられています。綺麗に色づいたら、ジュースやジャムに加工すること。傷ついたリンゴは動物園の住人のご馳走になります。リンゴ一つ一つに対する斎藤さんの愛情に触れ、毎回気持ちよく作業させていただきました。斎藤さんありがとうございました。（柴田）

きのこ汁大会

9月22日（水）参加19名。澄川での予定が生憎の雨で杉本邸ガレージに変更。湯澤シェフ特製のきのこ汁は、8種類のきのこにジャガイモ団子入り。大鍋があっという間に空になりました。助手として参加してくださいました湯澤さんの奥様、お世話になりました。急遽ジングスカン大会ともなり、冷たい雨も何のそのの熱い1日となりました。（柴田）

台風18号風倒木調査

9月17・18・21日澄川調査、参加各17・13・12名。10月5・6・14日有明調査、参加各9・14・4名。加治さんによる被害状況調査報告別紙参照（工事中）。

リンゴ園台風被害整理

9月16日（木）参加11名。リンゴ園の被害は新聞報道のとおり惨憺たるものでした。落果の整理は台風直後からはじめており、販売も終わっておりまして、園内の清掃、風倒樹の手入れなどが進行しました。（高野）

新入会員の紹介

織田将子・山岸由紀